

2023年度第2回ミャンマー支援実施報告

一般社団法人 日本ミャンマー友好協会



2023年度2回目のミャンマーへの人道支援（3,100,000円）を実施しました。

1回目は、既報の通り在日ミャンマー人有志「ミャンマーの平和を創る会-チイチイキンキン」によるクラウドファンディングで集まった10,592,000円の中から日本ミャンマー友好協会（JMFA）に託された1,500,000円と、有志からの寄付金80,000円、計1,580,000万円を、以下により現地支援しました。

1. シャン州の困窮する避難民等への支援（1,000,000円）
2. カヤー州の避難民キャンプへの支援（400,000円）
3. ミャンマー・タイ国境沿いの避難民学校への支援（180,000円）

[2023年度第1回ミャンマー緊急支援実施報告](#) | [\[JMFA\]一般社団法人 日本ミャンマー友好協会](#)

2回目の今回は、JMFAに直接寄せられた寄付金の中から3,100,000万円を、下記により支援しました。

1. ザガイン管区（1,000,000円）
2. 南北シャン州（600,000円）
3. カレン州～メソットの移民学校（500,000円）
4. チン州（500,000円）
5. カチン州（300,000円）
6. バゴー（200,000円）

計3,100,000円

これらのプロジェクトについてそれぞれ内容をご報告します。

但し、関係するボランティアの方々等の安全を考慮し、一部記述があいまいであったり写真にぼかしが入っていることをご承知おきください。

なお、内容の詳細につきましては、税理士の高橋節男氏より「適正に処理されていた」との外部監査報告をいただいております。

1. ザガイン管区への支援

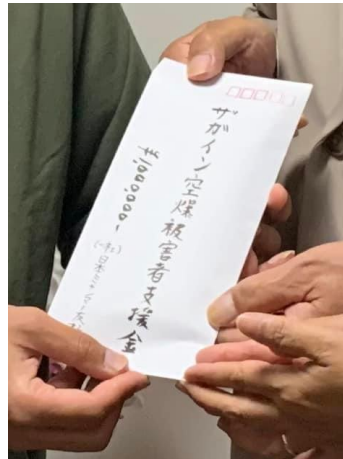
◆背景など

民主派勢力の強いザガイン管区において、軍は度々集落への襲撃を行っています。とりわけ2023年4月11日の空爆による死者は子どもを含め168人に達したとされ、避難民も増大しています。そうしたことから、緊急的に食糧及び医療を提供する必要があるため、NUG Japan 経由で支援を実施しました。

◆プロジェクト概要

- ・活動期間 《2023 年 10 月》
- ・実施エリア 《ザガイン管区》
- ・対象者 《空爆被害者等》
- ・支援額 《1, 000, 000 円》

◆感謝状及び支援状況



2. 南北シャン州

- ① パラウン民族避難民支援
- ② シャン民族避難民支援
- ③ シャン州コオタイで教育活動等に取り組むボランティア団体への支援
- ④ シャン避難民地域における教育ボランティア教師への健康支援
- ⑤ 地雷により身体の一部の失った村人 - お一人 50 万チャットの支援金
- ⑥ 北シャン州のナムカム空爆被害支援

◆背景など

シャン州はいくつもの少数民族が存在し、複数の武装勢力も存在します。クーデター以降は、軍による攻撃が激化し、人々に多くの被害をもたらされました。10月27日には、3つの武装勢力による軍との大規模な戦闘が開始され、民主派勢力とも連携して戦闘は継続しており、支援要請のあった被害者等への必要な支援を実施しました。

◆プロジェクト概要

- ・活動期間 《2023 年 6 月～2024 年 1 月》
- ・実施エリア 《シャン州各地の紛争地域》
- ・対象者 《避難民、住まいを失った村人、空爆被害者、地雷による被害者、教育関係者》
- ・支援額及び支援内容 《600, 000 円》

◆感謝状



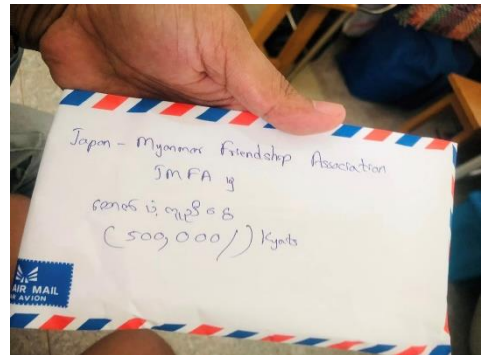
◆支援状況等

①～⑤ Tai Youth Yangon 経由での支援

[လိးမီးလွင်းလွန်းထိမ်ယူတီး Japan-Myanmar... - Tai Youth Yangon | Facebook](https://www.facebook.com/TaiYouthYGN/)



<https://www.facebook.com/TaiYouthYGN/posts/pfbid0Zrbf7nPRDyu3N7qqjFbaHgeCHFqytqfhX5GpC3n2vpoHGku4WpxDKcKdh19Y133i1>



⑥ 北シャン州のナムカム空爆被害支援





3. タイ メソットの移民学校 (500,000 円)

◆背景など

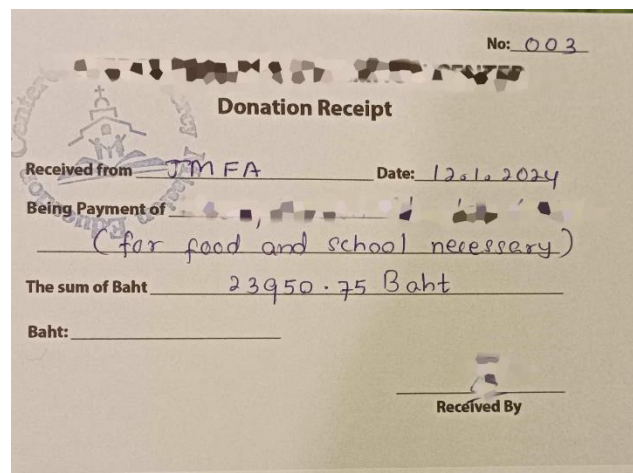
ミャンマーとの国境沿いにあるタイのメソットには、多くのミャンマー人が戦火を逃れて居住しています。とりわけ近年はその数も増大し、たくさん子どもたちが劣悪な教育環境の中に置かれています。こうした子どもたちとボランティア教師たちに対して、外部からの支援は喫緊の課題となっています。

今回は、JMFA に支援要請のあった3つの移民学校と、NUG Japan 経由でその他の移民学校に支援しました。

◆プロジェクト概要

- ・活動期間 《2023年9月～2024年3月》
- ・実施エリア 《タイ国内のミャンマーとの国境に近い地域》
- ・対象者 《①「Maw Goon Thit Migrants and Refugee Learning Centre」、②「MMEC School Activities」③「Ngar Doh Sar Thinn Kyaung」の各移民学校の児童と教師 及び④NUG Japan 経由による同地域の移民学校》
- ・支援額 《①100,000 円、②100,000 円、③100,000 円、④200,000 円》

◆感謝状



③



④



English Language Centre

To Japan Myanmar Friendship Association.
Date: 25.2.2024

Subject : Acknowledgement
Dear Mr. Fujinawa

We the ELC school received 200,000 Yen through NUG Representative office Japan for ELC school, Mae La Camp. On behalf of ELC school we are very grateful to you and your organization for your concern and sympathy.

Sincerely yours,

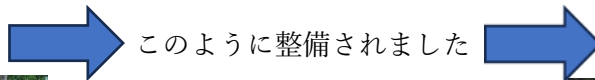
(Teacher)

◆支援状況等

①前回の支援により在籍児童の増大に見合った新校舎ができています。今回は劣悪な通学路を整備しました。



通学路修繕



このように整備されました



②





③本校は1名のボランティア教師によって運営されており、現在図書室の設置を目指している。



④



4. チン州 (500,000円)

◆背景など

チン州はミャンマー西部の山岳地帯にあり、クーデター後の早い時期から軍と対峙してきました。それに対して軍は大規模な空爆をしかけ、人口1万人ほどのタンタランは実に全体の6割の建物が破壊され町は廃墟になったとされています。しかし交通の便がよくないこともあり、人々への十分な支援は行き届いていません。

◆プロジェクト概要

- ・活動期間 《2023年10月》
- ・実施エリア及び対象者 《チン州の困窮者及び避難民》
- ・支援額 《500,000円》
- ・支援ルート 《在日チンコミュニティ (CHIN COMMUNITY OF JAPAN) 》

◆感謝状



◆支援状況等



空爆後のタンタラン



5. カチン州 (300,000円)

◆背景など

カチン州は広大な山間地帯を抱えているミャンマー北部の州であり、クーデター以前から頻繁に軍との戦闘が起きていました。クーデター以降は、村々への軍による度重なる空爆が繰り返され、多くの人々が村からの避難を余儀なくされました。さらにその避難民キャンプへも軍は砲撃をおこなうなどしたため、人々は困難な生活を強いられています。

◆プロジェクト概要

- ・活動期間 《2023年10月》
- ・実施エリア及び対象者 《カチン州の困窮者及び避難民》
- ・支援額 《300,000円》
- ・支援ルート 《カチン事務機構-日本 (Kachin Affairs Organization-Japan) 》

◆感謝状



◆支援状況等



6. バゴー (200,000円)

◆背景など

バゴーはヤンゴンに比較的近いところに立地する古都です。2021年4月9日、国軍と警察が、民主化を求めて抗議運動をする若者たちをロケット弾など重火器で襲撃し、家屋にいた一般住民を含めて多数を虐殺しました。また2023年10月にはバゴー管区で大規模な洪水が発生し、住民に甚大な被害が生じました。

◆プロジェクト概要

- ・活動期間 《2022年10月》
- ・実施エリア及び対象者 《バゴー管区で洪水被害に遭われた人々》
- ・支援額及び支援内容 《200,000円 (食料、医薬品) 》
- ・支援ルート 《BGO EMERGENCY FAMILY (JAPAN) 》

◆感謝状



◆支援状況等



飲料は溜めた雨水

